

20周年に寄せて（メンバーの一言）

本当に早いもので、一心が出来てから20年になり、私が関わらせていただいていた19年がたとうとしています。今までいつも教えていただいていると思います。

「何事にも感謝よ。」といつもおっしゃる方、「ありがとう。また来てね。」とおっしゃって下さる方々に本当にご縁を感じます。人は一人では生きていけない。人に迷惑をかけながら死ぬまで生きつづけなければいけない。それが寿命。私たちが介護を受ける立場になるまでずっと一心がつづいてくれることを切に願っています。



<高崎 文子>

ママサポート（産後ケア）で今でも印象に残っているケアがあります。初産の方で、ご家族の助けを得られず、退院後すぐにケアに入りました。ケアに伺うと、ちょうど母乳を与える時間でうまく飲むことが出来ないベビーが泣いていて、必死で飲ませようとしている新米ママが四苦八苦していました。私も汗だくになりながら、飲ませる方法をサポートし、この日のケアはほとんど母乳のお手伝いとなりました。次にケアに入った時には、うまく飲めるようになっていて、一日一日成長していく姿を実感しました。ママサポートは、短期ケアですが、とても大切なケアだと思っています。

<添田 麻里>

私は、訪問介護という仕事について、約八年になります。今年百二歳でお亡くなりになりましたが、亡くなる一か月前までおひとりで生活なさっていた男性の方のところに六年近く訪問しました。お名前が義父と同じだったので親しみを感じていました。訪問すると留守の事があり捜し回った事がありました。コーヒーが大好きで喫茶店でコーヒーを飲んでいらっしやっった事もあります。ある時ケーキのチラシを見ていっしょに食べようとおっしゃっていただきましたが、叶う事はありませんでした。

<田上 明子>

このお仕事は、ただ働きたいという理由で始めました。なので、資格も何もなく、本当に申し訳ないくらい気軽に始めてしまったので、失敗の連続でした。服薬確認のために訪問したのに忘れてお話しだけして帰って来てしまったり失敗はたくさんありますが、利用者様はとても寛大で私のような人間にも「ありがとう」と言ってくれます。いつもたくさんのお話を教えて下さり、どちらが支援されているのかわからなくなることがあります。本当にありがたいです。そして一心に出会えてよかったと思います。

<堀内 実穂>

メンバー募集

一緒に働いてみませんか？

ヘルパー2級をお持ちで、働いていない方大歓迎です！

お問い合わせ先：0467-58-7086

<編集後記>

花粉でお悩みの方も、そうでない方も、桜咲く暖かい季節となりました。
(*^_^*)

厚いコートを脱いで、心も、身体も軽く皆様のもとへお伺いいたします。



特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ 一心

〒467-0001 岐阜県岐阜市間坂1-5-49

TEL: 0467-58-7086

(ケアマネジャー連絡先) 84-0651

E-Mail: chigasaki@wco-issin.jp

URL: <http://www.wco-issin.jp>

- ★一心独自事業
- ★介護保険訪問介護事業
- ★介護予防訪問介護事業
- ★障がい福祉サービス事業
- ★介護保険居宅介護支援事業

<発行責任者>長谷 悦子 <発行日> 2016年4月2日

2015年度活動報告



大雪と厳しい寒さが続いた冬が去り、ぽかぽかと暖かいやわらかい陽ざしが気持ちいい春がやってきました。昨年度もメンバーのスキルアップの為の様々な研修や行事等を行いました。その一部を報告いたします。

4月

ねこの手 55号発行 (4/2)
内部研修「子育て支援新制度について」(4/4)



5月

内部研修「認知症について」(5/9)
第13回総会 (5/23)
親睦会 (5/23)
訪問介護アンケート実施



6月

内部研修「食中毒・O157 事例検討」(6/6)
第2回カフェサロン一心 (6/21)
居宅介護支援アンケート実施

7月

第1回プロジェクト担当者会議 (7/4)

8月

ねこの手 53号発行 (8/8)
内部研修「倫理・法令遵守・個人情報保護研修」
(理事会主催) (8/8)

9月

内部研修「排せつ介助・口腔ケア」(9/5)
第3回カフェサロン一心 (9/13)

10月

内部研修「緊急時の対応・訪問時の緊急事例」(10/3)
設立20周年記念式典 (10/18)

11月

内部研修「接遇・倫理・高齢者虐待について」(11/7)
最新のベビーケア研修 (11/14)
第4回カフェサロン一心 (11/15)
松林公民館介護教室講師「楽しく学ぼう介護のしくみ・予防・サービス」(11/17)

12月

ねこの手 54号発行 (12/5)
内部研修「感染症ノロウイルスについてとその蔓延防止」(12/5)

1月

身体介護実技研修「負担の少ない身体介護」(1/23)

2月

コーデスキルアップ研修
「記録表の書き方」(2/18)

3月

カフェサロン一心第5回開催 (3/13)



20周年に寄せて (メンバーの一言)

(1996年にスタートしてからのいろいろな方との出会いがありました。)

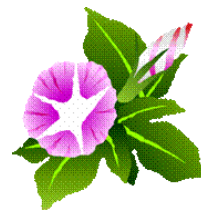


2003年3月に55歳で一心に入会しました。多くの現メンバーの皆さんと同じく、私もワーカーズって？理解出来ないままのスタートでした。活動を続けていく中で、一心の民主的な運営、地域福祉に貢献していこうという謙虚な想いを実感できるようになり、気が付けば理事・理事長・監査担当・員外監事と、まさに私の中年期は一心と共に充実した時間となりました。これからの日本、不安要素ばかりが思い浮かびますが、だからこそ一心が希望の灯となり続けられる様に若い人達がつないでいていただけたらと心から願っています。皆さんも是非事業運営の中枢にはいって活躍する事をお勧めします。ファイト！

<渡辺 順子>

一心に入会したのは2008年、その時頂いた会員番号は139で、私はすぐに「一心サンキュー」と覚え良い番号で長い付き合いになるなと思いました。多くの人生の先輩なる利用者さんとの出会いがありました。料理上手の方で、病気で食べるのも辛そうな時、「おじやを作って」と言われ、言われた通りに出汁にご飯を入れ卵でとじました。「美味しい」と言われ少しずつ食べられたのが忘れられません。娘の多感だった思春期に対処できたのも、一心の方々と仕事があったからだと思います。これからも感謝の気持ちを持って、ケアに、一心の事に励みたいと思います。

<多田 満恵>



生活クラブ生協を利用していた事もあり、W.CO設立の呼びかけに、介護技術を学びたいとの思いから参加しました。あれから20年、随分と長い時を一心と共に歩んできているなあとと思います。家事や介護、産後のケア、お買い物付き添い等の依頼に皆で、研修し合いながら、誠実に対応してきました。利用者も増え、特に印象に残っている思い出は、第一回の利用者の方々とメンバーとの交流会です。手作りのお食事とメンバーのアトラクションで、おもてなしをしました。毎月1回メンバーが集まる定例会では、当初から現在までも変わらず活発な議論が交わされています。これからも健康に気を付けて、楽しみながら一心に関わっていきたいと思います。

<鶴身 英子>

この2015年5月で4年目。資格を取りたての私が、初めてヘルパーとして仕事を始めたのが一心でした。助け合いワーカーズの名のおり、利用者の方、先輩方に助けられここまで続けてこられました。飽きやすい性格の私が楽しく仕事を続けていられることを思うと性に合っているのでしょうか…？毎日新しい発見と勉強の毎日です。当初、利用者様の距離が近くお仕着せのケアになってしまうことが多くありました。「何のためのサービスか」原点に戻ると、見えてくることがあります。今は心に余裕をもってお話しをうかがうことが出来るようになりました。先日、ある番組で篠原桃紅さんの話を伺いました。「103歳になってわかること」の著者で書家のこの方の一言。「健康面ではマイナスだけれど、精神面では昨日より今日の私の方が智慧があるの」私もそういう人生を送りたいと思いました。私は、改めて皆さんがお一人お一人の人生を大切にしながら楽しく前向きな日々を送っていただければお手伝いできたなら…と思っています。これからもよろしくお願ひ致します。

<ロカ ひとみ>